

ツガザクラ

Phyllodoce nipponica Makino
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は4箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

高山の岩場に生える。高さ10～20cm。葉は線形で縁にまばらな微鋸歯がある。7～8月頃、枝先に2～6個の横向きの花をつける。萼片は紅紫色、卵形または広披針形、微毛と腺毛が生える。花冠は鐘形で淡紅色。

分 布

本州（東北地方中部～伯耆大山）、四国に分布。県内では、勝山市、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の環境の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会編（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ハクサンシャクナゲ

Rhododendron brachycarpum D.Don ex G.Don
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は7箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が高山に限られており、園芸目的で採集される恐れが高いため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

亜高山、高山に生える常緑低木。高さ1～2m。若枝には露滴状毛が散生する。葉は革質、表面は無毛、裏面は露滴状毛が密生する。7～8月上旬頃、枝先に短い総状花序を伸ばし、5～15個の花をつける。花冠は白色で赤みを帯びる。

分 布

北海道、本州（中北部）、四国に分布。県内では、勝山市、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の環境の変化。温暖化による生育地の減少。園芸目的の採取。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989b）、福井県植物研究会編（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ヒメウスノキ

Vaccinium yatabei Makino
ツツジ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

既知の生育地点は8箇所である。前回の調査では取り上げられなかったが、県内での生育地が亜高山や局所的に冷涼な環境に限られているため、県域絶滅危惧Ⅱ類とした。

種の特徴

亜高山に生える落葉低木。地下茎を伸ばして広がり、高さ10～30cmになる。茎は緑色で稜が目立ち、無毛。葉は薄く、先は尖り、縁に鉤状に曲がった鋸歯がある。5～6月頃、新枝の基部に1個の花をつける。花冠はつぼ形。果実は赤熟する。

分 布

北海道、本州（中北部）、四国に分布。県内では、小浜市、あわら市、勝山市、大野市で確認されている。

生育を脅かす要因

生育地である亜高山の環境の変化。温暖化による生育地の減少。登山道整備への注意が必要である。

参考文献 佐竹義輔（1989b）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○								○		○	○	